



CISJ NEWS

A Publication of the Clinical Implant Society of Japan

January 2015

ご挨拶



一般社団法人
日本インプラント臨床研究会
会長
田中 譲治

新年のご挨拶

会員の皆様にはお健やかに新年をお迎えのことと存じます。昨年6月に井汲会長より引き継ぎ約半年が過ぎまして、まだまだ至らぬことも多くご迷惑をお掛けしているのではないかと気がかりですが、会員の先生方の多大なるご協力により、恙なく船出できたことを心からお礼申し上げます。

当会は40年の歴史、会員数400名を超え、公益社団法人日本口腔インプラント学会の指定研修施設としてインプラント界を牽引する日本を代表する研究会の1つといえるでしょう。そして、インプラントを正しく国民に浸透する責務がある立場と考えております。名誉会長である相浦洲吉先生をはじめ、当会からは多くの先生方が学会要職につかれ、多大なるご尽力をされています。このようなことから、当会としても伝統を継承し、日本のインプラントの発展に寄与できるよう活動を推し進めることが期待されております。そのためにも、会員一人一人が飛躍できるよう当研究会をさらに充実させ、魅力ある会になるよう誠心誠意努力していきたいと思っております。

昨年初冬には、お忙しい中アンケートにご協力頂きまして誠にありがとうございました。会のさらなる改善のために貴重な情報とさせていただきます。本年も定例研修会、特別研修会、関西支部研修会、そして、いよいよ第10回を迎える全員発表研修会(7月19日～20日)、韓国で開催を予定しておりますAOIA(10月31日～11月1日)、日先研との合同研修会(11月15日)と多くの事業が目白押しであります。それとともに、重要目標である専門医100名超えのためのサポートも、専門医委員会小倉委員長を中心に充実させてまいりたいと思っております。また、大変好評を得ている40周年記念誌「インプラントのための重要12キーワードベスト240論文」をもとにした詳細な内容を、サイエンス委員会の尽力により2年間の連載でQuintessence DENTAL Implantologyに掲載されることが決まっております。

今年はずつじ年です。羊は競争や争いごとといったトラブルを嫌うそうです。チームワークを必要とし、フレンドリーな関係を好みます。しかし、困難には負けません。そして団結力があります。ウールのセーターが人を暖かくするように、暖かく接して頑張ります。(Yahoo!知恵袋より)是非とも会員皆様方の更なるご支援ご協力を心よりお願いすると共に、先生方の益々のご発展とご活躍を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。